



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 株式会社ダイセル
コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	87,981	6.8	6,521	7.5	6,617	△2.4	3,799	17.1
24年3月期第1四半期	82,402	△8.5	6,065	△45.2	6,781	△35.2	3,243	△22.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,682百万円 (△41.3%) 24年3月期第1四半期 4,569百万円 (124.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.80	—
24年3月期第1四半期	9.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	408,092	236,948	53.3	618.30
24年3月期	398,196	234,711	54.7	618.94

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 217,480百万円 24年3月期 217,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	178,000	5.8	13,000	13.3	13,500	15.2	7,700	33.6	21.89
通期	365,000	6.7	27,000	32.2	28,000	32.7	16,000	35.3	45.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	364,942,682 株	24年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	13,204,043 株	24年3月期	13,202,440 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	351,739,243 株	24年3月期1Q	355,755,328 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州をはじめとした海外景気のさらなる悪化や円高の継続など、引き続き予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、879億81百万円（前年同期比6.8%増）となりました。利益面では、営業利益は65億21百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益は66億17百万円（前年同期比2.4%減）、四半期純利益は37億99百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途が薄型テレビの販売不振の影響を受け、売上高は微減となりました。

たばこフィルター用トウは、海外向け販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、185億62百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は、原燃料高に伴う販売価格の是正や減価償却費の減少などにより、34億18百万円（前年同期比100.4%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けの海外需要が軟調に推移したものの、当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕について当連結会計年度は実施しない年であるため販売数量が増加し、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品については、酢酸エチルの販売が堅調に推移しましたが、電子材料向け需要の回復が遅れていることや円高の影響もあり、売上高は減少いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、電子材料向け需要の停滞や海外需要不振の影響で、売上高は減少いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国向けのカラム販売は好調を維持したものの、受託分離の受注減や円高などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、184億24百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は、販売数量の減少や円高の影響もあり、13億10百万円（前年同期比42.7%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社及びその子会社群が事業を行っております。当第1四半期にあたる平成24年1～3月においては、海外需要の停滞や円高の影響を受けましたが、原燃料高に対応した販売価格の是正が進み、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、電機・電子材料向けが落ち込みましたが、自動車部品向けなどが堅調に推移し、売上高は微増となりました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、電子材料分野での需要回復の遅れの影響などもあり、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、342億95百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は、原燃料価格の高騰などにより、28億17百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、前年同期に震災で落ち込んでいた自動車生産台数が回復したこと、及び本年4月に買収したイニシエータ（インフレーター用着火部品）の製造販売会社である米国Special Devices, Inc.を新規連結したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、売上高は横這いとなりました。

当部門の売上高は、154億34百万円（前年同期比71.9%増）、営業利益は、販売数量の増加に伴う設備稼働率の向上などにより、10億11百万円（前年同期比341.5%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療分野向けが好調に推移し、売上高は増加いたしました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、12億63百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は、1億26百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産は、有価証券の減少及び投資有価証券の時価評価額の減少などがありましたが、たな卸資産、無形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比し98億96百万円増加し4,080億92百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより前連結会計年度末に比し76億59百万円増加し、1,711億44百万円となりました。

また純資産は、2,369億48百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,174億80百万円となり自己資本比率は53.3%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

Chiral Technologies, Inc.

Chiral Technologies Europe S.A.S.

Daicel (Asia) Pte. Ltd.

Daicel (Europa) GmbH

Daicel Polymer (Hong Kong) Ltd.

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用する方法に変更しております。

Daicel Trading (Shanghai) Ltd.

Daicel Chiral Technologies (China) Co., Ltd.

Shanghai Daicel Polymers, Ltd.

Daicel Nanning Food Ingredients Co., Ltd.

Daicel (China) Investment Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,649	32,978
受取手形及び売掛金	76,675	77,203
有価証券	3,925	423
たな卸資産	71,134	75,466
その他	13,844	15,101
貸倒引当金	△60	△105
流動資産合計	197,170	201,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,739	43,855
機械装置及び運搬具(純額)	54,964	53,901
土地	26,503	26,586
建設仮勘定	11,845	13,693
その他(純額)	2,151	2,251
有形固定資産合計	139,204	140,288
無形固定資産		
のれん	—	3,353
その他	2,393	7,219
無形固定資産合計	2,393	10,573
投資その他の資産		
投資有価証券	44,209	39,442
その他	15,374	16,889
貸倒引当金	△154	△170
投資その他の資産合計	59,428	56,161
固定資産合計	201,026	207,023
資産合計	398,196	408,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,212	48,200
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	12,020	16,362
1年内返済予定の長期借入金	13,482	12,693
未払法人税等	1,515	1,325
修繕引当金	161	1,385
その他	18,435	19,662
流動負債合計	101,828	109,629
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	27,730	26,189
退職給付引当金	10,498	10,847
役員退職慰労引当金	58	66
修繕引当金	1,129	191
資産除去債務	1,030	1,042
その他	1,209	3,176
固定負債合計	61,656	61,514
負債合計	163,485	171,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	152,858	155,113
自己株式	△6,011	△6,012
株主資本合計	214,701	216,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,507	8,417
繰延ヘッジ損益	△115	△90
為替換算調整勘定	△8,387	△7,802
その他の包括利益累計額合計	3,004	524
少数株主持分	17,005	19,467
純資産合計	234,711	236,948
負債純資産合計	398,196	408,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	82,402	87,981
売上原価	63,952	67,698
売上総利益	18,449	20,282
販売費及び一般管理費	12,384	13,761
営業利益	6,065	6,521
営業外収益		
受取利息	85	80
受取配当金	476	464
持分法による投資利益	384	331
その他	493	356
営業外収益合計	1,440	1,232
営業外費用		
支払利息	393	304
為替差損	82	583
その他	247	247
営業外費用合計	723	1,135
経常利益	6,781	6,617
特別利益		
固定資産処分益	0	4
関係会社株式売却益	239	—
補助金収入	1,000	—
特別利益合計	1,240	4
特別損失		
固定資産除却損	275	56
減損損失	374	—
固定資産圧縮損	911	—
投資有価証券評価損	—	74
災害による損失	434	—
特別損失合計	1,996	130
税金等調整前四半期純利益	6,026	6,491
法人税、住民税及び事業税	1,588	1,647
法人税等調整額	284	398
法人税等合計	1,872	2,046
少数株主損益調整前四半期純利益	4,153	4,445
少数株主利益	910	645
四半期純利益	3,243	3,799

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,153	4,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△323	△3,048
繰延ヘッジ損益	6	8
為替換算調整勘定	624	1,043
持分法適用会社に対する持分相当額	107	232
その他の包括利益合計	415	△1,763
四半期包括利益	4,569	2,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,320	914
少数株主に係る四半期包括利益	1,249	1,767

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,763	20,257	34,168	8,979	81,169	1,233	82,402	—	82,402
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	471	3,648	2	—	4,122	2,452	6,574	△6,574	—
計	18,235	23,906	34,171	8,979	85,291	3,685	88,977	△6,574	82,402
セグメント利益	1,706	2,285	3,813	229	8,035	112	8,147	△2,081	6,065

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,081百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,562	18,424	34,295	15,434	86,717	1,263	87,981	—	87,981
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	642	4,030	4	—	4,677	2,441	7,118	△7,118	—
計	19,204	22,455	34,300	15,434	91,394	3,705	95,099	△7,118	87,981
セグメント利益	3,418	1,310	2,817	1,011	8,558	126	8,684	△2,163	6,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,163百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。